



たもんじ 交流農園

2022年2月号



Vol.47

つながる
墨田区

1/9(土)引渡し式が開かれ、2組の新しい仲間が誕生!!

ここで早速! 新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 01-
2-①

NPO 法人カラフル・コネクターズ (カラコネオフィス)

代表 ボーン・クロイドさん、カラコネ利用者、職員とその家族など



① 障害のある人の就労支援をしているカラコネオフィスと申します。普段は石原三丁目にある御谷湯という銭湯で裏方の作業をしている福祉施設です。

② 施設の食事会で使う野菜をつくります。その他、江戸野菜や私、ボーンの地元、神奈川の鎌倉野菜や三浦野菜などにもトライしたいと思っています。

③ コロナ後を見据えて、障害のある人と地域の人が対等な立場で交流できるイベントなどがあったら、積極的に参加したいと思っています。

④ この農園を通して、カラコネが今後、本格的に地域と関わっていくきっかけになることを願っています。私個人としては老後の楽しみと、減少するであろう年金に備えて、自給自足生活ができるように、いろいろと学びたいと思っています。



区画 03-2

こぐま農縁 代表安倍康弘さん、一緒に耕作する仲間：高橋美和子さん、渡邊友里さん、宮下大輝さん、安倍幸子さん

① 浅草かっぱ橋のコミュニティカフェでのボランティアで繋がったメンバーです。世代、住む場所、職業もばらばらですが「農と食」に関心を持ち、自分たちで野菜づくりができる場所をさがしていたところにご縁があり、たもんじ交流農園の一区画をお借りすることになりました。チームの名前「こぐま農縁」は、畑作業のあとにメンバーで立ち寄る、向島の古民家カフェの店名に由来しています。



② 寺島なすなど江戸野菜

③ 野菜作りや江戸野菜についての勉強会、自分たちで育てた野菜を使ったレシピ紹介、地域の人たちが集まる縁日

④ 畑に関してはまだまだ初心者ですので、会員の皆さんに色々教えていただきながら楽しみたいです。これから畑作業や農園でのイベントを通して、皆さんと交流できたらと思います。よろしくお願いします!

第2回 たもんじ交流農園 フォトコンテスト いよいよ投票開始!!



前回同様作品を出した人も、出していない人も持ち票は一人3票です。いいね!!と思う作品に、どの色でもいいので ● の形のシール(添付の袋に入っている)を貼っちゃってください。自由なテーマの「特別賞」も自由に投票OKです!!

【投票期間】2月20日(日)から3月13日(日)午後1時まで



新しいメンバーを加え、ますます勢いにのる農園部。今号より新しいメンバーの方にお一人ずつ自己紹介して頂こうと思います。

農園部の新メンバーご紹介 season2

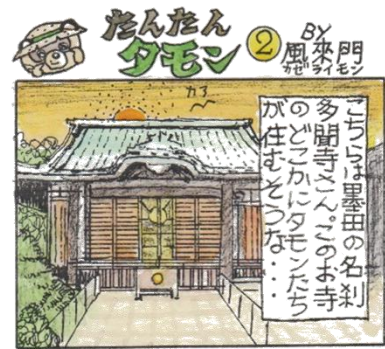


第1回 渋沢理絵さん

去年 11 月に行われた交流会から参加しています。普段は小規模多機能型居住介護施設である「あゆみの舎」で職員として働いています。野菜を食べること、農作業をすること、農作業を通じて皆さんとのやり取りすることが大好きで、すごく楽しいです。

先日農園で私がシャベルで畑を耕していたら、見ていた方が「シャベルに乗っかって体重をかけて耕すと深く耕せるよ」とアドバイスして頂きました。アドバイスの通り耕してみたら、深く耕せ、なるほどなと思いました。詳しい方の意見は農業をあまり知らない私にとって貴重です。こういったアドバイスを聞くだけでも参加してよかったです。これからもよいアドバイスを聞き、自分の糧としたいです。

たもんじ交流農園は私にとって野菜栽培の貴重な知識を得る場であり、コミュニケーションの場であり、爽やかな疲れもあり、普段の仕事とは違う土に触れることを通じリフレッシュもできる場です。これだけでも私にとってとてもありがたい場ですが、農園で頂いた農作物は平日の仕事場に持ってくお弁当や夕食のおかずになり、おいしく頂くことができ、私も私の家族も嬉しいです。たもんじ交流農園に参加すると良いことばかりあります。これからもよろしくお願いします。



“てらたま農園部から”

第7回～プランターの草花と精神的・心理的効果～



樹木などの緑は、それが近くにあるだけで人々の心に安らぎと潤いをもたらしてくれます。東向島駅前プランターは、墨田区の「まちなか緑化推進制度」を活用し、色とりどりのお花が植えられています。成長期のお子さんが花に親しみ、また、花を介した世代交流によって地域のつながりを深めたりと、仲間と一緒に愛着をもって手入れをし、見て楽しむ人の笑顔にワクワクします。

植物と人間の関係について考察した研究の結果・・・地域コミュニティでのグループによる園芸活動は、うつ病や介護予防などの効果が期待できるそうです。

季節が変わり春から夏になると、プランターの主役は「寺島なす」にバトンタッチ!!されます。畑、花壇がなくともプランターで育つ江戸野菜「寺島なす」は、緑の少ない墨田区でも、やる気!! 元気!! 楽しむちから!!で、野菜と草花の魅力を発信し続けています。



水口アドバイザーご指導日: 2/27(日)、3/6(日) 10:00～

農園部作業日: 毎週日曜 10:00～



たもんじ交流農園便り
No.47 般 2022.221 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



てらたま協議会
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団

